

車バイバルが目指すもの

一般社団法人72時間サバイバル教育協会

代表理事 片山 誠

片山 誠（カタサン）
(株)ココロ 代表取締役
(一社)72時間サバイバル教育協会
代表理事

固定観念にとらわれずに自ら考えて行動
できる自助共助の力を持った人を増やし、
助け合いの社会を創るために全国で講
習・講演活動中。
4泊5日の無人島サバイバル研修などユ
ニークな研修も数多く行う。

著書「もしときサバイバル術Jr」
「車バイバル！」
監修「目指せ！災害サバイバルマスター」



SHA-VIVAL

車^{シャ}バイバル!

自分で考え、動くための防災BOOK



著：片山 誠
[72時間サバイバル教育協会]

監修：石川 真禧照
[自動車生活探検家]

車中泊のメリット

- ・プライバシー保護、防犯
- ・空調管理が出来る
- ・コロナ対策

車中泊のデメリット

- エコノミークラス症候群
- 家族が多いと狭い
- 公助の把握がしにくい

車中泊で自己完結する

車中泊については、いろいろな人が
いろいろなところで発信しています

では現状は？

防災教育の根本的な問題

- ・自分事化していない
 - ・頭でっかち
- ・何とかかなると思っている
- ・頭の片隅から消えていく
- ・モチベーションが上がらない

- ・自分事化していない

自分には災害は来ないだろう
これまでに災害に遭ったことがない
見たり知ったりする経験がない

・頭でっかち

座学で学んだだけで満足
映像やネットなどの情報に頼る
現場を見たことがない

・何とかかなると思っている

備蓄をしている

1日2日くらいなら

そんなに大きな災害はこない

- ・頭の片隅から消えていく

講習会に参加した後の意識
他にやることがいっぱい
行動変容につながっていない

・モチベーションが上がらない

怖いし考えたくない

おもしろくない

参加義務でしぶしぶ

体験学習プログラムで解決

体験をすると想像していたことと
違うことがよく起こる

・車バイバルで知れること

一夜を過ごす課題が見える
自分の車で避難できるか
どんなモノが必要か

体験を通じて、事実を知り、
自分で考えて、判断すること

体験をした後に
興味を持ち続け、行動する

コンソーシアムとしての役割

車バイバルの知識のない避難者に
場所を提供するとどうなるか考える

かと言って慎重になり閉ざすのは
地域にとってはマイナス

教育機関だからこそ出来る
学習活動を考えてみる

もちろんワクワクする形で！

学生の皆さんの知恵も借りて
共に学ぶプログラムの構築

目指すゴールの整理

ただ車で避難をして助かる人を
増やしたいわけではない

一人ひとりが自助力を身につけ、
弱者に優しい助け合いの社会

自助力を身につける

||

それだけでも社会貢献

防災も含めて助け合いで解決

様々な社会課題＝自己責任では解決しない

分断

犯罪

教育格差

貧困

高齢化

防災

ご清聴ありがとうございました